



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場会社名 株式会社 アドバンテス

上場取引所 東

コード番号 6857 URL <http://www.advantest.co.jp/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 松野 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	95,155	22.7	△5,323	—	△8,089	—	△7,732	—
23年3月期第3四半期	77,538	144.9	5,953	—	5,135	—	3,271	—

(注)四半期包括利益 24年3月期第3四半期 △12,868百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △975百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△44.62	△44.62
23年3月期第3四半期	18.56	18.56

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	219,457	125,008	125,008	57.0
23年3月期	180,312	138,132	138,132	76.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—		
24年3月期(予想)				10.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社の配当基本方針および最近の業績動向を踏まえ、期末配当予想を上記のとおり修正いたしました。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	38.5	1,000	△83.6	△1,800	—	△1,000	—	△5.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

昨年10月時点では、半導体の需給動向や半導体関連の設備投資の動向を見通すことが困難であるため、業績予想の開示を行いませんでしたが、第3四半期の受注動向等を勘案し、通期の業績予想を開示することが可能となりましたので上記のとおり開示いたします。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Verigy Ltd. 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P4.「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P4.「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注)詳細は、添付資料P4.「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	199,566,770 株	23年3月期	199,566,770 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	26,295,394 株	23年3月期	26,294,819 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	173,271,828 株	23年3月期3Q	176,205,042 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されております。業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料P4.「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成23年度(2011年度) 第3四半期決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	平成22年度 (2010年度) 実績	平成23年度(2011年度)実績						平成23年度(2011年度) 業績予想		
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	4Q	通期	前年度比
受注高	1,090	384	276	259	Δ6.1%	919	21.8%	331	1,250	14.7%
受注残	296	412	400	352	Δ12.0%	352	93.7%	255	255	Δ14.1%

2. 損益

(単位:億円)

	平成22年度 (2010年度) 実績	平成23年度(2011年度)実績						平成23年度(2011年度) 業績予想		
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	4Q	通期	前年度比
売上高	996	268	377	307	Δ18.4%	952	22.7%	428	1,380	38.5%
売上原価	511	137	205	173	Δ15.3%	515	27.6%	-	-	-
研究開発費	212	58	80	77	Δ4.4%	215	37.7%	-	-	-
販売費および一般管理費	212	65	123	87	Δ28.3%	275	75.9%	-	-	-
営業利益 (売上高比率)	61 (6.1%)	8 (2.9%)	Δ31 (Δ8.2%)	Δ30 (Δ9.9%)	-	Δ53 (Δ5.6%)	-	63 (14.8%)	10 (0.7%)	Δ83.6%
営業外損益	Δ5	Δ4	Δ20	Δ4	-	Δ28	-	-	-	-
税引前当期純利益 (売上高比率)	56 (5.6%)	4 (1.4%)	Δ51 (Δ13.4%)	Δ34 (Δ11.1%)	-	Δ81 (Δ8.5%)	-	63 (14.7%)	Δ18 (Δ1.3%)	-
法人税等	24	1	Δ3	Δ2	-	Δ4	-	-	-	-
当期純利益 (売上高比率)	32 (3.2%)	3 (1.3%)	Δ48 (Δ13.0%)	Δ32 (Δ10.4%)	-	Δ77 (Δ8.1%)	-	67 (15.7%)	Δ10 (Δ0.7%)	-
営業利益 (統合関連費用を含まない)	61 (6.1%)	16 (6.0%)	10 (2.7%)	Δ5 (Δ1.8%)	-	21 (2.2%)	Δ65.4%	72 (16.9%)	93 (6.8%)	52.5%

3. 財政状態

(単位:億円)

	平成22年度 (2010年度) 実績	平成23年度(2011年度)実績			
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末
総資産	1,803	2,252	2,289	2,195	Δ4.1%
株主資本	1,381	1,369	1,276	1,250	Δ2.0%
株主資本比率	76.6%	60.8%	55.7%	57.0%	-

(単位:円)

1株当たり株主資本	797.20	790.18	736.27	721.46	Δ2.0%
-----------	--------	--------	--------	--------	-------

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	平成22年度(2010年度)			平成23年度(2011年度)		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	5.00	5.00	10.00	5.00	10.00	15.00

※当初未定としておりました期末配当予想を10円とし、年間配当予想を前期実績に比べて5円増配の15円といたします。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更	P. 4
3. 四半期連結財務諸表等	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括利益計算書	P. 10
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(6) セグメント情報	P. 12
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）の状況（単位：億円）

	平成 23 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	754	919	21.8%
売上高	775	952	22.7%
営業利益	60	△53	—
税引前四半期純利益	51	△81	—
四半期純利益	33	△77	—

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州諸国の財政危機の深刻化や新興国景気の減速感など、先行きへの不透明感をさらに濃くする中で推移しました。

半導体関連市場では、スマートフォンやタブレット端末など好調な製品は一部あったものの、とりわけパソコンや液晶テレビなど、これまで半導体消費を支えてきたデジタル機器の需要沈滞が顕著となった結果、多くの半導体メーカーでは減産や在庫調整などの供給調整の動きを進めるとともに、新規設備投資に対する慎重な姿勢を強めております。

これらの動きに加えて、円高が継続されたことにより、当社の受注環境は第 2 四半期以降厳しい状況が続いておりますが、そのような環境においても、当社は、昨年度末から今年度第 1 四半期にかけての好調な受注を背景に、前年同期より売上高を伸ばしました。一方で利益面については、2011 年 7 月に買収完了した Verigy Ltd.（以下、Verigy 社）との統合関連費用を今年度累計で 74 億円計上したことで、前年同期比で減益となりました。

以上の結果、受注高 919 億円（前年同期比 21.8%増）、売上高 952 億円（同 22.7%増）、営業損失が 53 億円、税引前四半期純損失 81 億円、四半期純損失 77 億円となりました。海外売上比率は 87.8%（前年同期 78.3%）です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

（単位：億円）

	平成 23 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	503	728	44.7%
売上高	542	703	29.7%
営業利益	76	17	△78.2%

新規の需要が全体として減退傾向となる中、MPU量産に向けた大型受注案件に牽引され、非メモリ半導体用テストシステム分野が堅調に推移しました。メモリ半導体用テストシステム分野は、DRAM半導体の大きな需要源であるパソコンの需要沈滞の影響を受けて、多くの顧客で新規投資が凍結され、厳しい状況が継続しました。

以上により、当部門の受注高は 728 億円（前年同期比 44.7%増）、売上高は 703 億円（同 29.7%増）、営業利益は 17 億円（同 78.2%減）となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位：億円)

	平成 23 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	160	119	△25.8%
売上高	141	145	2.9%
営業利益	1	△7	—

当部門では、海外競合企業との競争激化に加えて、第 2 四半期以降の顧客各社における生産調整の実施により、厳しい環境が続いております。

以上により、当部門の受注高は 119 億円（前年同期比 25.8%減）、売上高は 145 億円（同 2.9%増）、営業損失は 7 億円となりました。

<サービス他部門>

(単位：億円)

	平成 23 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	103	124	19.9%
売上高	105	136	29.5%
営業利益	18	11	△37.5%

当部門では、Verigy 社のサービス収入が第 2 四半期より連結業績に加わったことなどで、顧客各社の低水準な設備稼働率が続きましたが堅調な結果となりました。

以上により、当部門の受注高は 124 億円（前年同期比 19.9%増）、売上高は 136 億円（同 29.5%増）、営業利益は 11 億円（同 37.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の総資産は、前年度末比 391 億円増加し、2,195 億円となりました。この主な要因は、のれんおよび無形資産が、それぞれ 340 億円および 148 億円増加し、短期投資が 127 億円減少したことなどによるものであります。負債合計は短期借入金が 405 億円増加したことなどにより、前年度末比 523 億円増加し、944 億円となりました。また、株主資本は 1,250 億円となり、株主資本比率は前年度末比 19.6 ポイント減少し、57.0%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第 3 四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より 99 億円減少し、654 億円となりました。当第 3 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純損失（△77 億円）を計上しましたが、売上債権の減少（62 億円）および減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、53 億円の収入（前年同期は、20 億円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、369 億円の支出（前年同期は、157 億円の支出）となりました。これは主に、子会社買収による支出（△571 億円）および短期投資の減少（144 億円）などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、257 億円の収入（前年同期は、120 億円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加（411 億円）、転換社債の償還による支出（△137 億円）ならびに配当金の支払（△17 億円）によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

欧州の経済危機の先行きや米国経済停滞への懸念から先進国の消費者需要が冷え込む中、半導体検査装置投資に対する顧客各社の慎重な姿勢は、全体的には当面継続されるものと予想されます。しかし、一部の大手半導体メーカーが積極的な設備投資の構えを見せるなど、受注環境好転の兆しも出てまいりました。

このような市場環境の中、当社は、Verigy社との統合によって豊富になった製品ポートフォリオや、営業力が強化されたことを活かし、一層のシェア拡大に取り組むことでさらなる業績の向上を図ってまいります。特に、高成長が期待されるスマートフォンやタブレット端末に搭載されるアプリケーション・プロセッサ、CMOSイメージセンサ、省電力化の進展に伴って順調な成長が予想されるパワー半導体など、非メモリ半導体を中心にテスト需要の獲得に注力します。

そして中期的な経営目標である「売上高2,500億円」「営業利益率20%以上」「半導体テストシステムおよびテスト・ハンドラの合計シェア50%以上」を2014年度に達成するため、Verigy社との技術的長所の融合と業務統合を加速させるとともに、引き続き顧客基盤の拡大と顧客満足度の一層の向上に努めます。

通期の連結業績予想につきましては、売上高は1,380億円、営業利益は10億円、税引前当期純損失は18億円、当期純損失は10億円を予想しております。なお、Verigy社との統合関連費用のうち一時的な支出については、当第3四半期をもってほぼ計上を完了しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

新規 1社：Verigy社

平成23年7月4日に、当社は、米国上場企業であるVerigy社の普通株式全株を1株当たり現金15米ドルにて取得する手続を完了し、完全子会社化しました。

(2) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更

平成21年10月に、米国財務会計基準審議会は、複数の製品・サービスの提供契約に関する収益認識の基準を改訂しました。当該基準は、収益認識における複数の製品・役務の提供契約に関する収益の配分条件を改訂しております。当該基準は、販売者特有の客観的証拠と第三者が提供できる証拠のいずれもが入手不可能な場合に、見積り販売価格で収益の配分を決めることを規定しております。当社および当社の連結子会社（以下、アドバンテスト）は、平成23年4月1日より開始する第1四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。

平成21年10月に、米国財務会計基準審議会は、ソフトウェアの収益認識に関する基準を改訂しました。当該基準は、ソフトウェア組込機器製品の収益認識に関する会計処理を改訂しており、ソフトウェア収益認識基準の対象範囲から機器製品に関するソフトウェアを除外できるかどうかの指針を規定しております。アドバンテストは、平成23年4月1日より開始する第1四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。

有形固定資産の減価償却方法について、従来、当社および国内子会社においては主に定率法により、海外子会社においては定額法により計算しておりましたが、当社および国内子会社は、平成23年4月1日より、減価償却方法を定額法に変更しております。当該変更の結果、全体として減価償却方法は定額

法に統一されました。

当社は、近年の経営環境およびプロダクトミックスの変化を受けて、有形固定資産を使用した将来の生産計画ならびにメモリ半導体用テストシステムおよび非メモリ半導体用テストシステムの売上構成を分析しました。当該分析の結果、今後重要性が増すと見込まれた非メモリ半導体テストシステムビジネスの収益と有形固定資産の使用の関連をより適切に反映し、原価配分をより適切に収益に対応させる定額法が、望ましい方法であると判断しました。なお、ASC250「会計上の変更および誤謬の訂正」に準拠し、この減価償却方法の変更は見積りの変更として将来にわたって適用され、遡及修正はしていません。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第 3 四半期連結累計期間の税引前四半期純損失および四半期純損失はそれぞれ 432 百万円、当第 3 四半期連結会計期間の税引前四半期純損失および四半期純損失はそれぞれ 146 百万円減少しております。また、当第 3 四半期連結累計期間の基本的 1 株当たり四半期純損失および希薄化後 1 株当たり四半期純損失はそれぞれ 2.49 円、当第 3 四半期連結会計期間の基本的 1 株当たり四半期純損失および希薄化後 1 株当たり四半期純損失はそれぞれ 0.84 円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年12月31日)
資産の部		
現金および現金同等物	75,323	65,390
短期投資	12,651	—
売上債権（貸倒引当金控除後）	22,707	17,618
棚卸資産	23,493	33,320
その他の流動資産	2,995	8,063
流動資産合計	137,169	124,391
投資有価証券	7,432	5,827
有形固定資産（純額）	31,878	32,582
無形資産（純額）	874	15,628
のれん	645	34,599
その他の資産	2,314	6,430
資産合計	180,312	219,457

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年12月31日)
負債の部		
買掛金	11,729	13,713
短期借入金	—	40,548
未払費用	7,329	8,847
製品保証引当金	1,754	2,151
前受金	1,740	4,843
その他の流動負債	1,955	2,970
流動負債合計	24,507	73,072
未払退職および年金費用	14,069	16,741
その他の固定負債	3,604	4,636
負債合計	42,180	94,449
契約債務および偶発債務		
資本の部		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	40,628	42,104
利益剰余金	183,009	173,545
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 18,270	△ 23,406
自己株式	△ 99,598	△ 99,598
資本合計	138,132	125,008
負債および資本合計	180,312	219,457

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)
売上高	77,538	95,155
売上原価	40,348	51,498
売上総利益	37,190	43,657
研究開発費	15,619	21,512
販売費および一般管理費	15,618	27,468
営業利益 (△損失)	5,953	△ 5,323
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	278	291
支払利息	△ 2	△ 110
その他	△ 1,094	△ 2,947
その他収益 (△その他費用) 合計	△ 818	△ 2,766
税引前四半期純利益 (△損失)	5,135	△ 8,089
法人税等	1,834	△ 358
持分法投資利益 (△損失)	△ 30	△ 1
四半期純利益 (△損失)	3,271	△ 7,732

(単位：円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	18.56	△ 44.62
希薄化後	18.56	△ 44.62

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月 1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年10月 1日 至 平成23年12月31日)
売上高	25,445	30,695
売上原価	13,534	17,299
売上総利益	11,911	13,396
研究開発費	5,281	7,688
販売費および一般管理費	5,417	8,748
営業利益 (△損失)	1,213	△ 3,040
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	78	106
支払利息	△ 0	△ 44
その他	△ 263	△ 438
その他収益 (△その他費用) 合計	△ 185	△ 376
税引前四半期純利益 (△損失)	1,028	△ 3,416
法人税等	329	△ 189
持分法投資利益 (△損失)	△ 21	34
四半期純利益 (△損失)	678	△ 3,193

(単位：円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月 1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年10月 1日 至 平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	3.91	△ 18.43
希薄化後	3.91	△ 18.43

(3) 四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)
四半期純利益 (△損失)	3,271	△ 7,732
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	△ 4,330	△ 4,975
純未実現有価証券評価損益		
当期発生純未実現損益	△ 348	△ 1,076
控除 純実現損益の再分類調整	222	813
純未実現損益	△ 126	△ 263
年金債務調整	210	165
未実現デリバティブ評価損益	—	△ 63
その他の包括利益 (△損失) 合計	△ 4,246	△ 5,136
四半期包括利益 (△損失)	△ 975	△ 12,868

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月 1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年10月 1日 至 平成23年12月31日)
四半期純利益 (△損失)	678	△ 3,193
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	△ 918	1,109
純未実現有価証券評価損益		
当期発生純未実現損益	114	54
控除 純実現損益の再分類調整	—	128
純未実現損益	114	182
年金債務調整	70	11
未実現デリバティブ評価損益	—	2
その他の包括利益 (△損失) 合計	△ 734	1,304
四半期包括利益 (△損失)	△ 56	△ 1,889

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益(△損失)	3,271	△ 7,732
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	3,100	4,958
繰延法人税等	353	△ 1,186
ストック・オプションによる報酬費用	110	408
投資有価証券評価損	452	1,454
売上債権の増減(△増加)	△ 11,076	6,202
棚卸資産の増減(△増加)	△ 8,011	444
買掛金の増減(△減少)	5,949	△ 325
未払費用の増減(△減少)	603	△ 2,308
製品保証引当金の増減(△減少)	△ 309	202
未払退職および年金費用の増減(△減少)	214	179
その他	3,358	3,038
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,986	5,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期投資の増減(△増加)	△ 13,745	14,375
売却可能有価証券の売却による収入	6	10,262
子会社買収額(取得現金控除後)	-	△ 57,145
有形固定資産の売却による収入	5	67
有形固定資産の購入額	△ 1,894	△ 4,303
無形資産の購入額	△ 172	△ 234
その他	72	34
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 15,728	△ 36,944
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増加	-	41,146
転換社債の償還による支出	-	△ 13,742
自己株式の取得による支出	△ 10,266	△ 1
配当金の支払額	△ 1,709	△ 1,678
その他	0	△ 11
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 11,975	25,714
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 3,101	△ 4,037
現金および現金同等物の純増減額(△減少)	△ 32,790	△ 9,933
現金および現金同等物の期首残高	96,439	75,323
現金および現金同等物の四半期末残高	63,649	65,390

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報

	単位：百万円				
	前第3四半期連結累計期間				
	(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)				
半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計	
外部顧客に対する売上高	52,925	14,093	10,520	-	77,538
セグメント間の内部売上高	1,269	48	-	△ 1,317	-
売上高	54,194	14,141	10,520	△ 1,317	77,538
調整前営業利益 (△損失)	7,630	104	1,840	△ 3,511	6,063
(調整) ストック・オプション費用					110
営業利益 (△損失)					5,953

	単位：百万円				
	当第3四半期連結累計期間				
	(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)				
半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計	
外部顧客に対する売上高	67,016	14,513	13,626	-	95,155
セグメント間の内部売上高	3,267	36	-	△ 3,303	-
売上高	70,283	14,549	13,626	△ 3,303	95,155
調整前営業利益 (△損失)	1,667	△ 736	1,149	△ 6,995	△ 4,915
(調整) ストック・オプション費用					408
営業利益 (△損失)					△ 5,323

単位：百万円

前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)					
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	17,709	4,407	3,329	-	25,445
セグメント間の内部売上高	498	44	-	△ 542	-
売上高	18,207	4,451	3,329	△ 542	25,445
調整前営業利益 (△損失)	2,044	△ 121	494	△ 1,149	1,268
(調整) ストック・オプション費用					55
営業利益 (△損失)					1,213

単位：百万円

当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)					
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計
外部顧客に対する売上高	20,352	4,472	5,871	-	30,695
セグメント間の内部売上高	229	2	-	△ 231	-
売上高	20,581	4,474	5,871	△ 231	30,695
調整前営業利益 (△損失)	△ 2,477	△ 415	1,021	△ 979	△ 2,850
(調整) ストック・オプション費用					190
営業利益 (△損失)					△ 3,040

- (注) 1. 全社に含まれる営業利益 (△損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。
2. アドバンテストは、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

- (7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。